

## ■執筆者紹介（掲載順）

### 灰谷 謙二（はいたに けんじ）

尾道大学芸術文化学部日本文学科准教授。

瀬戸内海域方言を中心とする生活語彙論と方言変容の研究。

現代日本語で方言を中心とした地域生活言語の研究をしています。瀬戸内海を中心フィールドにしながら都市生活と方言のありかたについても考えています。みのまわりどころがっている具体的な日常の言語現象の観察をすこしづつ積み重ねていつのまにか大きな論が組み立てられていく醍醐味を味わうこと、フィールドワークによる第一次資料をつかって新しい発見をしていくことの喜びを経験してもらうよう心がけています。

### 田村 禎英（たむら さだひで）

尾道大学芸術文化学部美術学科デザインコース講師。

東京芸術大学美術学部デザイン科卒。デザイナー、イラストレーター。

各種メディアを利用した地域文化の保存と活用の研究。

大学ではコンピューターグラフィックスを中心としながら、デザイン領域全般について教えています。また、日本文学科と共同での教育活動として、尾道を舞台とした創作民話絵本「尾道草紙」の制作出版を指導、監修しています。

### 小野 環（おの たまき）

尾道大学芸術文化学部美術学科油画コース講師

東京芸術大学大学院修士課程修了。美術作家。

尾道を中心に国内外各地で作品展示やワークショップを行っています。

2007年より尾道山手地区を舞台に開催するアーティスト・イン・レジデンス「AIRONOMICHI」の企画運営を行っています。AIRONOMICHI実行委員会代表。NPO法人尾道空き家再生プロジェクト副代表。

## 特別寄稿

### 緒方 啓介（おがた けいすけ）

東京芸術大学美術学部附属古美術研究施設非常勤講師。

尾道大学芸術文化学部美術学科非常勤講師。日本美術史、古美術研究。

仏像を中心とした仏教美術史の流れを教えています。

尾道市域の仏像を中心とする文化財調査を推進しています。